

網島ひとつプラン

ニュース

第5号

2014年(平成26年)10月1日発行

特報

ひろがる理解がひろがる、担い手がひろがる ネットワーク部会からのレポート第一弾！ 網島西広町自治会の取組事例

網島西広町自治会見守りプラン

網島西広町自治会では、防災・減災計画における高齢者・障害者に対して、どのように対応していったら良いのかを課題としました。

①現状を把握したところ(平成26年4月現在)。
世帯数・約240世帯

内、75歳以上の方の世帯数(独居・同居・2世帯住居)全て含めて・50世帯、障害者乳幼児世帯・約30世帯です。

合計で、見守り対象世帯・約80世帯となり、全体の3分の1が見守り世帯であります。

○このような現状を踏まえすと当自治会においての見守りプランは、日本人が戦前まで当たり前前に活用していた、「隣組制度」が最も効率が良いのではないかと考えました。

昨今の、隣近所との会話や交流などの希薄化を改善していくことが必要と思います。

②「隣組制度」の広町バージョンとして提案するには

a..挨拶、声かけから始めて(個から)

b..班単位の活動を増やすことで(チームの元素)

c..自治会活動そのものが常時地域見守り活動となるような企画運営(全体の動きへ)

○隣近所での見守りプランにおいては、個人情報等への配慮も大きなウエイトにはならず、『お隣りのおじいちゃん、お向いのおばあちゃん』で事が足りるでしょう。

③実例として

・今年の2月、積雪がたくさんあった時のことです。

『おばあちゃんが雪道の中、郵便物を出しに行った帰り道、雪掻きによって出来た雪の塊に足をとられ転倒、身動きが出来なくなっていました。』

普段からこのおばあちゃんを気に掛けている、隣近所の方々が自宅から出掛ける姿を見ており、この事態をすぐに発見できたことで大事に至らずに済みました。』

○これも従来から隣近所の声掛けをされている方々のお陰だと思えます。

○昔は近所に必ず「お節介おばさん」や「恐いお爺さん」がいました。現在はそのような役割分担をする必要はありませんが、代わりに自治会リーダー(民生委員・スポーツ推進委員・青少年指導員・地域防

災担当・家庭防災連絡員等)が率先して声掛けをすべきでしょう。

④結論として

皆が「防災・減災」への関心を持って日常の生活ができるように

『明るく(誰が居るのか知る)・温かな(ひと声かけ)・優しい(直ぐに手を差し伸べる)』絆のある人間関係、チーム広町を作っていくと願っています。

まずは「挨拶・声掛け」が自然に出来るような共通認識を持てる活動の積み重ねを実施しております。

要援護者事業の取組

要援護者事業は「防災の取組み」以上に「自治会町内会の活性化」に直結するもので、最終的には、「町会の班単位」(あるいは「向こう三軒両隣」など、身近なお付き合いの中で進めなければ実効性が担保できません。つまり、お互いに身の回りの人たちへの関心をどのように持ってもらうかだと考えます。「いざとなれば誰かがやる」では、現在のような地域コミュニティでは困難です。しかし、この取り組みは、確かに一日二日では実現できるものではありません。日頃からの隣近所の交流が、要援護者事業の原点です。従って、各自治会町内会は、要援護者を確認・把握したうえで、「町会の班単位」にこだわらず、各自治会町内会の規模に応じて様々な対応をしていくことが必要です。

災害時に手助けが必要な人について、本人の了解をとった上で、誰が声をかけるか、誰が避難の手助けをするかなど、あらかじめその人の支援者を決めておくことからはじめてみることに。



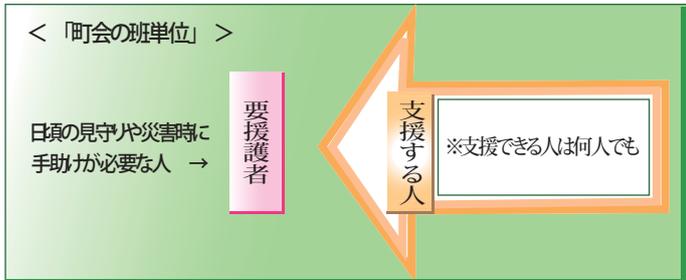
(裏面に続く)

そのためには、次の三点の取組みから始めてはいかがでしょうか。これが初めの一歩です。

(1) 日ごろご近所で、かかわりが少ない場合は、声をかけあえる関係をつくる。

(2) 災害時に援助の必要な方（「要援護者」～高齢者や障害者など）がいる場合には、ご近所の皆さんで確認をしておく。

(3) 平時から、支援する人（支援できる人）、支援される「要援護者」の皆さん同士で相互理解出来るよう話し合いで確認しておく。



自治会町内会 紹介コーナー（第三回）

今回は、綱島東町自治会をご紹介します。

綱島東町自治会は、設立は昭和28年5月1日に発足いたしました。現自治会長の小嶋始さんは7代目の会長です。今年61年目になります。

当自治会は綱島地区の東に位置し、諏訪神社東町の中にあります。

(1) 世帯数：2100世帯

(2) 町会の班数：97班

*綱島東自治会事務所を拠点に活動 綱島東4丁目にあります。

(3) 自治会のエリア

綱島東二丁目、二丁目、三丁目、四丁目、綱島台 綱島西六丁目。

(4) 組織

①会長、副会長（3名）、会計（2名）、常任理事（30名）から構成。

②毎月（運営委員会、理事会）を、月初めに各1回開催しています。

(5) 活動

総務部（企画・広報）・防犯部（パトロール）・防災部（防災訓練）からなる組織で、極め細かな地域活動を行っています。

毎年秋にはバス日帰り旅行、現在綱島二丁目公園で毎日ラジオ体操を行っています。夏休みには子供会も行います。

毎年、防災訓練を綱島東小学校をお借りして実施しています。

毎年1月に、餅つき大会を綱島二丁目公園で行っています。

毎年1回、東町ふれあいフェスタを7月に開催 東町の会員各位の交流を目的としたイベントです。

③ ながるくまちを知る、ひとを知る、活動がにつながる

地域交流部会からのレポート!!

第1回「ふれあいの家」を開催しました。

5月21日（水）のふれあいの家は開始時間ころまで雨が降っており、参加員がおりませんでした。スタッフだけで体操を行いました。

第2回「ふれあいの家」を開催しました。

6月25日（水）、金子家で開催しました。

内容は

- 1 大谷会長挨拶
- 2 合唱
- 3 区役所より（尿漏れ予防、熱中症について）
- 4 茶話会

参加者は9名、その他スタッフ3名、区役所2名、樽町地域ケアプラザ2名、綱島社協2名でした。



合唱の様子

合唱では中学校で音楽を教えた長友さん親和会の指導で唱歌、歌謡曲を約50分ほど声を合わせて歌いました。

茶話会ではお菓子をつまみながら雑談で過ごしました。楽しいひと時でした。

第3回「ふれあいの家」を開催しました。

7月23日（木）14時～16時に親友会館で行われました。

参加者は地域の11名、スタッフ5名、樽町地域ケアプラザ2名、区役所3名でした。

内容は

- ①体操 高野野回カラビナス
 - ②お茶を飲みながらの懇談
- で楽しい時間を過ごしました。



懇談の様子

主催 「ひとつとプラン港北」 綱島地区計画推進委員会 地域交流部会
 共催 綱島親友会・綱島東町自治会・綱島中町自治会・綱島東親和会
 後援 綱島地区社会福祉協議会

★お問合せ 地域交流部会 責任者 座間英夫 電話 (531) 7554

※推進委員会では、今後、このサロンを地域の皆さまと一緒に、定期的に開催できることを目指しております。

網島ふれあい広場～



網島地区社会福祉協議会のコーナー

平成26年度 「敬老祝賀会」

今年も大盛況！

九月十五日(月)「敬老の日」に、七十九歳以上の皆さん千三百人余りの方々に招待状をお届けいたしました。今年は天候にも恵まれ、約六百名の方々の参加をいただき、会場は熱気にあふれました。

百歳になられた方、二名と九十歳になられた方、五十名が「長寿表彰」を受けられました。横山港北区長さんをはじめご出席の来賓の方々からお祝いの言葉を受けられました。その後、祝宴に入りアトラクションを楽しみながら一時を楽しくお過ごしいただきました。午後の部は、二階でカラオケ、踊り、囲碁・将棋などが行われ、大賑わいでした。

ご参加いただいた皆さんは、今の網島のまちづくりにも尽くされた方々です。これから健康にご留意いただいて、来年の「敬老祝賀会」にご参加いただけるようお祈り申し上げます。



受付の様子…地域の高齢者の方々が参加



式典の様子(お祝いの挨拶・長寿表彰)



琴と歌唱、阿波踊りの披露



バリーダンスの披露



懇談会の様子



午後は和室でのお楽しみ会の様子
…寿令会の歌あり、落語あり

網島地区福祉相談コーナーのお知らせ

昨年10月、「ひとつプランニュース」(第3号)で網島地区福祉相談コーナー開設のお知らせをいたしました。今回は、お電話による相談もいただけるように専用の「携帯電話」を用意いたしました。電話番号は、

070-2209-2000



お電話によるご相談もご来場いただくものと同様に、毎週金曜日の午前10時から12時です。お気軽にダイヤルしてください。網島地区社会福祉協議会担当者が皆様からのご連絡をお待ちしています。



網島地区センター外観



網島地区センター相談コーナー

住民向け啓発講座(第二回目)

～認知予防講座実施のお知らせ～

前回は、お口のケアによる健康維持の講座を行いました。今回は、先生の講話と共に、参加された皆さんが簡単な楽器を手にして声を出すこと・歌を歌うこと・脳のどこかを刺激して思い出すこと・チーム別のゲーム等、楽しみながら脳を活性化させ認知症を予防する講演会を企画いたしました。皆様お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いしております。

日時

平成26年11月11日(火) 午後1時～3時

場所 網島地区センター2階「和室」

講師 高橋 亮太郎先生

(日本音楽療法学会認定音楽療法士)

*高橋先生は、「ドレミ若返りシリーズ」「うた声倶楽部まいるすとーん」、「昭和歌謡うた声倶楽部」、「みのり」などいろいろな音楽活用療法を取り入れた活動をされています。楽しい一時をお過ごしいただけることと思います。

参加費 無料

ボランティア募集しています

「ひとつプラン港北」網島地区計画推進委員会では『元気でふれあいまち網島』を合言葉に、ひとつプランニュースの発行と網島連合自治会のホームページでひとつプランの情報を提供しています。

地元、網島在住の方でお手伝い頂ける人を募集しています。

連合自治会HP (網島地区連合自治会) 検索

URL <http://sunashima-rengo.com/>

元気でふれあうまち綱島

2014年(平成26年)10月~2015年(平成27年)3月

イベントカレンダー

開催日		イベント	会場	主催	
26年	10月	12日(日)	第25回綱島スポーツフェスティバル	綱島小学校・校庭	綱島地区連合自治会
		18日(土)	ふるさと港北ふれあいまつり	新横浜駅前公園	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会(綱島地区連合自治会参加)
		24日(金)	港北ほくほくフェスタ	港北公会堂	港北区社会福祉協議会 港北区役所
		25日(土)	綱島東小学校地域防災拠点訓練	綱島東小学校・校庭	綱島東小学校地域防災拠点運営委員会
		26日(日)	北綱島小学校地域防災拠点訓練	北綱島小学校・校庭	北綱島小学校地域防災拠点運営委員会
	11月	1日(土)	「ふれあって北綱島」	北綱島特別支援学校	北綱島特別支援学校・同PTA会
12月	21日(日)	こうほく第九演奏会	港北公会堂	港北第九合唱実行委員会	
27年	1月	1日(木)	諏訪神社 元旦祭	諏訪神社	氏子連
		5日(月)	港北区新年賀詞交歓会	新横浜プリンスホテル	港北区・港北区連合町会
		9日(金)	綱島地区新年賀詞交歓会	ザニューオークラ	綱島地区連合自治会
		10日(土)	港北区消防出初式	日産スタジアム駐車場	港北区、港北消防署・消防団
		11日(日)	港北駅伝大会	日産スタジアム	港北駅伝大会実行委員会
	2月	中旬	綱島地区社会福祉協議会 研修施設見学	未定	綱島地区社会福祉協議会
	3月	中旬	第18回綱島桃まつり	綱島市民の森	市民の森愛護会
		下旬	第24回綱島桜まつり	綱島公園	綱島地区連合自治会 綱島地区社会福祉協議会

編集後記

ご存じのように、「ひつとプラン」の「ひつと」は、くひろがる、つながる、とどくの頭文字を並べたもの。今から四年前、港北区が平成二十三年度からの地域福祉保健に関する計画について、「誰もが安心してくらすまち港北」を目指して、港北区役所の「地域福祉保健計画」と港北区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」の二つを一体的に策定することを契機に、計画の愛称名を募集して決まったものです。

採用された応募者の久保田さんは、計画のキーワードである「ひろがる」「つながる」「とどく」という言葉の頭文字をつなげて、ヒット、ヒットで計画が進むようお願いを込めて、「ひつとプラン港北」として述べていました。

そこで、今号では、「ひろがる」を担当する「ネットワーク部会」からのレポートを特集しました。前号(四号)の編集後記で編集子は、「地域福祉」の取組はまだ道半くと書いた。どんな道を、何を目指して歩いているのか、よくわかっていない編集子ではある。

